【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】令和7年4月4日(2025.4.4)

【公開番号】特開2023-76463(P2023-76463A)
【公開日】令和5年6月1日(2023.6.1)
【年通号数】公開公報(特許)2023-101
【出願番号】特願2023-34649(P2023-34649)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ 38/16(2006.01)
Ａ６１Ｋ 45/00(2006.01)
Ａ６１Ｐ 17/00(2006.01)
Ａ６１Ｐ 43/00(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ 38/16
Ａ６１Ｋ 45/00
Ａ６１Ｐ 17/00
Ａ６１Ｐ 43/00 １２１

【手続補正書】
【提出日】令和7年3月27日(2025.3.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
傷跡を最小限にする方法において使用するための、短時間作用性神経毒素を含む医薬組成物であって、前記方法が、治療有効量の前記短時間作用性神経毒素を患者に対し、創傷の近接に投与することを含む、上記医薬組成物。
【請求項２】
前記短時間作用性神経毒素がボツリヌス神経毒素血清型Ｅを含む、請求項１に記載の医薬組成物。
【請求項３】
前記治療有効量が、約１０$^{-3}$Ｕ／ｋｇから約３５Ｕ／ｋｇの量を含む、請求項１又は２に記載の医薬組成物。
【請求項４】
前記治療有効量が、約０．２ナノグラムから約２ナノグラムの量を含む、請求項１～３のいずれか一項に記載の医薬組成物。
【請求項５】
前記方法が、前記患者への中程度作用性神経毒素の投与をさらに含む、請求項１～４のいずれか一項に記載の医薬組成物。
【請求項６】
前記方法が、前記患者への長時間作用性神経毒素の投与をさらに含む、請求項１～５のいずれか一項に記載の医薬組成物。
【請求項７】
前記創傷が外科的切開を含む、請求項１～６のいずれか一項に記載の医薬組成物。
【請求項８】
前記外科的切開が美容外科手術の結果である、請求項１～７のいずれか一項に記載の医

薬組成物。